

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	アウトルック	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.533	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：アウトルック

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：カオス・ブラック

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

箱出し状態

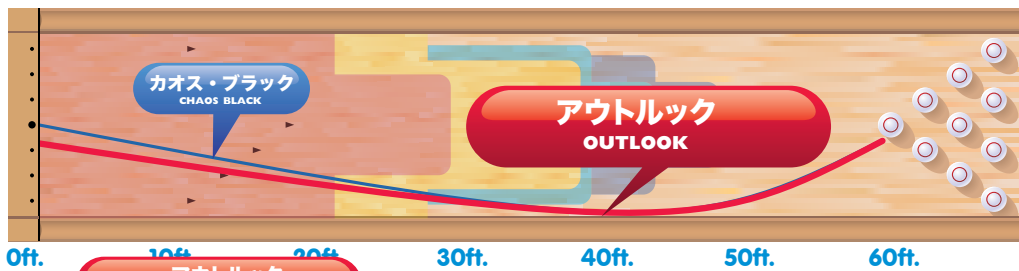
加工

ペーパー

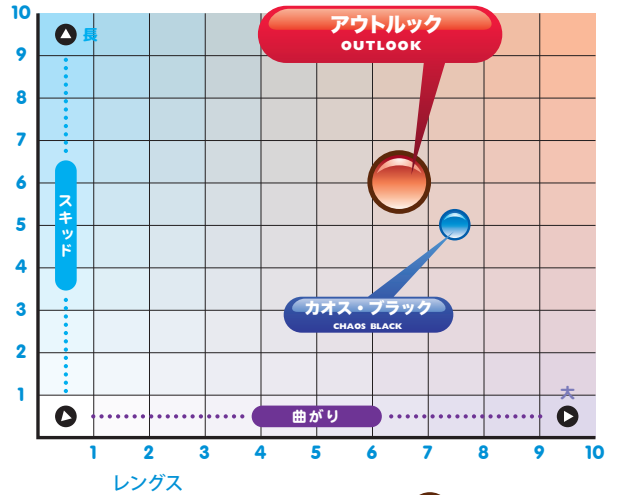
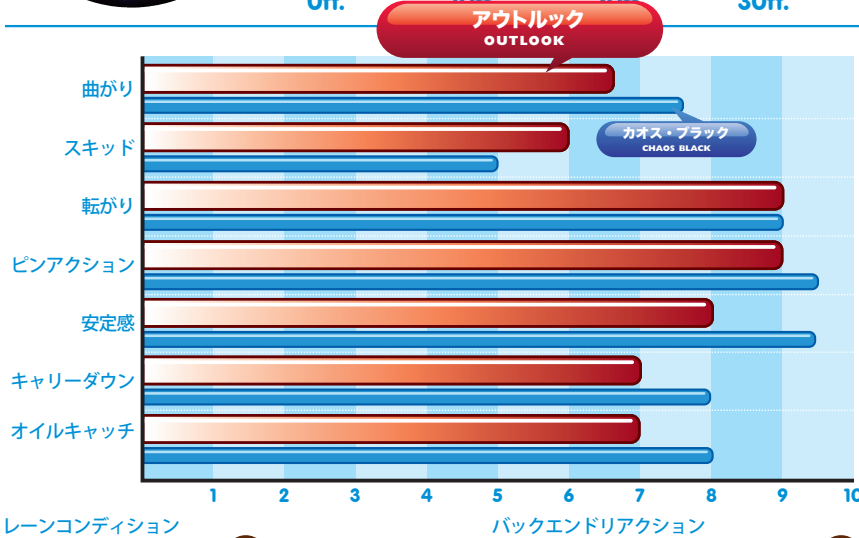
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

AUTHORITYのレポートでも記載しましたがColumbia300・TRACKがブランズウィックの傘下に入ること、EBIの蓄えた技術とブランズウィックの技術の融合がおきました。それは今までのEBIでもブランズウィックでも成せなかったケミカルの化学反応であり、これこそ時代をリードする大々的な革新になることは言うまでもありません。今後は相互のウレタンや添加物(ケミカル)で新たな発見が進むことは容易であり、非常にこれからの動向が気になるブランドと言えるでしょう。その中でOUTLOOKは今回走り系を担ったもう一つのColumbia300製品で、旧ColumbiaのCHAOSのカバーをブランズウィックでパールにバージョンアップさせた領域的にはMP(Mid Performance)を担う製品です。

Exiter Max Pearl ReactiveはCHAOSで使用したカバーのPearlバージョンで、コアは新開発のOutlook Core。RG2.533と△RG0.047で慣性的には若干高く感じますが、コアの運動はかなり早めに動き出しているようにも思えます。

AUTHORITYと比べるとキャッチは奥に行っているように思えるのですが、カバーとの相性なのでしょうか、数値以上の転がり感とキャッチ感が得られるので、走っているようにも見えるのですが、「キャッチをしながら走る」という印象が出ています。テスト段階で表面を箱出しより光らせたり曇らせたりして比較を行いました、曇らせて領域を上げるよりもさらに光らせてミディアムから下で使用するほうがカバーとコアのバランスと動きそのものがマッチしているように感じました。転がり感が出ているので派手に動くというよりはコントロール性と細かい軸移動が持ち味で、ストライクアングルへの入射角も取れているところは好印象です。

ブランズウィック真骨頂のダイナミコシステムで甲高い音と高反発のピンキャリアが皆さんの点数をサポートしてくれるでしょう。

特記事項

ミディアムを中心に転がり感を活かしながら、操作性の高い味のあるリアクションが特徴です。やや遅めのコンディションのベンチマーク的な役割を果たすボールと言えるでしょう。